

## 旧上庄小レジデンスプログラム 2023年度参加者募集要項

### 1 事業概要と目的

文化芸術は、いつの時代も、社会のなかで重要な役割を持つものです。2020年から世界中で猛威をふるった新型コロナウイルスの感染拡大により、その当初は様々な文化芸術活動があたかも不要不急のものであるかのごとく扱われ、自粛を余儀なくされました。外出自粛の日々に、音楽や本といった家庭のなかで楽しむことのできる文化芸術に癒しを求めた一方、美術館をはじめとする文化施設の休館など、日常的に存在していた文化芸術に触れる機会を失って、我々は改めてその重要性に気付くことになりました。しかし、文化芸術はこれだけ社会にとって必要とされる存在でありながら、その担い手たちを普段から支援していくような取組や制度は十分に整っているとは言えません。

一方、福岡県では、世界を視野に未来を見据えて、新しい一歩を踏み出すため、次代を担う「人財」の育成に取り組んでいます。文化芸術の分野でも、これからの福岡県を引っ張っていく「人財」を支援するとともに、夢に向かってチャレンジする若者を全力で応援してきました。

こうした背景を踏まえ、2022年度から新しく、国内外での活躍を目指す高い志をもった若手芸術家の活動を支援する滞在型プログラムを立ち上げました。2023年度は、「旧上庄小レジデンスプログラム」として、県内在住または本県出身の若い芸術家に、集中して創作に取り組む環境を提供することで、その芸術家人生の第一ステップを支援します。

本プログラムでは、そのプログラム名のとおり、県南部に位置するみやま市の「旧上庄小学校（2020年閉校）」を制作の拠点に設定しています。「旧上庄小学校」は、市民講座や公民館活動などで今なお地域の方々に利用されており、文化芸術に興味関心の高い地元住民の方々と日頃から触れ合える機会に富んだ場所です。そのような「旧上庄小学校」を中心に、若手芸術家と地域が繋がり、文化芸術と社会の新しいかたちの相互作用が生み出されることも期待しています。

### 2 令和5年度プログラムの概要

募集人数：2人（組）

滞在期間：令和5年9月～令和6年2月のうち90日間程度

※90日間程度／期とし、2期実施します（1期あたり1名（組）の参加）。

具体的な滞在日程は、制作プランや活動予定等を考慮し、参加者と相談の上、決定します。

成果展：各期の終盤に、それぞれ県内の会場にて開催予定（1～2週間程度を想定）。

### 3 応募条件

以下のすべての条件を満たす個人またはグループ（※1）

- ①2023年4月1日現在、18歳（高校卒業後）～39歳で、1年以上、福岡県に在住している方または福岡県出身（※2）の方
- ②美術の分野で活動している方
- ③本プログラム終了後も、芸術活動を継続していく意志がある方
- ④滞在期間中、指定された住居で生活できる方又は自宅等からスタジオ（旧上庄小学校）まで通所できる方（原則、週5日以上。詳細は、下記6-（1）を参照。）
- ⑤滞在期間中に、リサーチ活動や地域との交流活動（トークやワークショップ等）を通じて、拠点となる筑後地域の魅力を発見しつつ、それを活かした制作活動、成果発表ができる方
- ⑥スタッフ、地域の方々と良好な関係を築ける方
- ⑦健康状態が良好な方
- ⑧日本語でのコミュニケーションが可能な方
- ⑨新型コロナウイルス感染症感染防止に配慮した移動・活動ができ、自己負担でのPCR検査等に協力できる方

※1 グループ（1組複数人）で参加する場合、半分以上のメンバーが①を満たす必要があります。また、制作費や生活費などの経済的支援は1人分になります。

※2 本プログラムでは、「出生から18歳までの間に、1年以上、福岡県に居住したことがある方」とします。

### 4 施設情報

#### （1）スタジオ（別紙）

旧「みやま市立上庄小学校」（以下、「旧上庄小学校」という。）校舎内

（所在地：みやま市瀬高町上庄 1259）

#### [施設の特徴]

旧上庄小学校は、一級河川の矢部川が近くに流れる、住宅に囲まれた場所に位置しており、他校との統合のため、2020年3月に閉校しました。当時の面影が残る校舎内に、制作活動のためのスタジオや地域住民とも触れ合えるような交流スペースなどを整備しています。

#### （2）住居

参加者が希望する場合は、スタジオ（旧上庄小学校）の周辺に民間住宅を準備（借上げ）します。

#### （3）成果展会場

福岡県立美術館や九州芸文館での開催を予定しています。詳細は、各会場との調整後、決定します。

## 5 支援内容

### (1) 経済的支援

	項目	金額
①	成果展に出品する作品の制作に関する経費 (材料費、リサーチ活動に要する経費、その他制作に係る経費)	450,000 円 ※滞在期間中、3回に分けて支給。
②	主催者が必要と認めるワークショップ等の実施に関する材料費	15,000 円/回 ※滞在期間中、2回まで支給。 ※原則、精算払い。
③	滞在期間中の生活費 (食費や自宅から通所する場合の交通費等)	63,000 円/月 ※月途中から又は月途中までの滞在となる場合は、日割り計算します。
④	成果展開催に係る運搬費用(スタジオから成果展会場までの運送費)や設営費用、会場運営費用(会場使用料、監視職員人件費)、広報費用(チラシの制作費・発送費)	予算の範囲内で主催者が負担 ※左記以外で展示に係る特別費用については自己負担です。

### (2) 環境的支援

	項目	内容
①	スタジオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧上庄小学校内のスタジオとして整備している教室1室(おおよその使用面積:50㎡~70㎡程度)を無償で貸与します。</li> <li>・校内は、無線LANでインターネット利用可。</li> <li>・交流スペースや2階普通教室は冷暖房完備。 (廊下、トイレ、3階図工室・音楽室は、エアコン未設置)</li> <li>・スタジオの利用時間は、原則、9:30~18:00(予定)。</li> <li>・スタジオ内の清掃は、各自で行ってください。</li> <li>・スタジオ内に備えてあるテレビや机、その他校内に残存する備品等を利用したい場合は、事前に主催者まで確認してください。</li> </ul>
②	備品等	<p>滞在期間中に限り、主催者が用意する工具類や備品等を無償で貸し出します。</p> <p>[主な工具類、備品等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インパクトドライバー、サンダー、ピンタッカー、丸のこ</li> </ul> <p>※大型の工作機械、映像編集設備等はないため、制作に必要な特殊工具やPC、編集ソフトなどの専用機材は、各</p>

		自で持参してください。(大型の機械や備品等の持込みについては、主催者に要事前相談。)
③	生活拠点	<p>主催者借上げの民間住宅で生活する場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家賃及び光熱水費は無料です。</li> <li>・必要最低限の生活用品（寝具、エアコン、洗濯機、冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器等）は主催者で準備しますが、その他滞在中に必要な物品（例：洗面用具等の消耗品等）は、各自で準備してください。</li> <li>・滞在中の住居及び敷地内の清掃は、各自で行ってください。</li> <li>・ネット環境は各自で準備してください。</li> <li>・家族及び制作アシスタント等の同伴・滞在はできません。</li> </ul>
④	自転車	滞在中、自転車1台を貸与します。

### (3) その他の支援

項目	内容
人的サポート	・主催者は、必要に応じて、創作活動や作品展示、地域における交流活動に関する支援を行います。
活動の記録	・主催者は、本プログラムにおける参加者の作品や活動を写真や映像で記録し、適宜SNS等で発信するとともに、最終的に記録集を作成します。

## 6 参加にあたっての注意事項

### (1) 制作、ワークショップ等に関する事項

項目	内容
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滞在中は、冠婚葬祭のほか緊急を要する場合を除き、週5日以上、上記4(1)に定めるスタジオを拠点に、制作活動及びリサーチ活動を行うとともに、地域における交流活動に取り組むことを原則とします。</li> <li>・成果展に、作品を出品することを必須とします。</li> </ul>
地域における交流活動	<p>滞在中、トークやワークショップなど地域の方々との交流活動を実施していただきます。</p> <p>(R4 実施例：地域住民向け油絵講座、 地元小中学校からの依頼に応じて課外活動に講師として参加 等)</p>

滞在制作終了後の作品等	滞在及び成果展終了後、作品や制作のために自身で準備した材料等は、自身で引き取っていただきます。 (撤去費用、梱包費用、廃棄料等は自己負担)。
作品の著作権	本プログラムで制作した作品の著作権は参加者本人に帰属します。ただし、主催者は、主催者が記録した写真や映像等を、本事業の広報やアーカイブとして記録することを目的に、無償で使用することができます。

## (2) 滞在生活に関する事項

項目	内容
保険	・ 傷害保険や個人賠償責任保険等は、各自の責任で加入してください。

## 7 新型コロナウイルス感染症の対応

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止を含めた内容の変更等が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 8 応募方法

以下の提出書類を、PDF ファイルで準備し、メールで、下記「10 応募・問合せ先」へお送りください。

参加者応募用紙の様式は、こちらのホームページ  
(<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/shinshinkiei-bosyu2023.html>)  
からダウンロードしてください。

### <提出書類>

- ・ 参加者応募用紙
- ・ これまでの作品の画像データ

### <提出にあたっての注意事項>

- ・ 書類に不足がある場合、審査対象外となります。提出にあたっては、書類が全て揃っているか十分確認してください。
- ・ メールで提出する場合、件名は「【応募】旧上庄小レジデンスプログラム2023」としてください。
- ・ 受信確認後、応募者に対してその旨連絡いたします。提出後、4日経っても連絡がない場合は、問合せ先までご連絡ください。
- ・ 応募期間を過ぎた応募は受け付けられません。
- ・ 提出されたものは、原則として返却できませんのでご了承ください。

- ・提出書類に関しては、個人情報保護の観点から本事業以外の目的では決して使用いたしません。

## 9 応募期間

令和5年4月24日（月）～6月30日（金）17時まで ※必着

## 10 選考と結果

- ・本プログラム参加者を決定するために選考委員会を設置し、参加者を選考します。
- ・7月中に選考を実施し、その後速やかに応募者へ結果を通知します。
- ・なお、選考に関する個別の問合せは受け付けておりませんので、ご了承ください。

## 11 応募・問合せ先

応募に関する問い合わせについて、電話又はメールで受け付けます。

◎ 九州芸文館美術展実行委員会事務局 旧上庄小レジデンスプログラム担当

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7-7 福岡県文化振興課内

T E L : 092-643-3383 (受付時間: 平日 9:00~17:00)

E-mail : bunshin@pref.fukuoka.lg.jp (24時間受信可能)

旧上庄小学校 平面図

- (凡例)
- : 立入可能エリア
  - : 制作スタジオ (1人1室)
  - : 共用スペース (加工場)
  - : 交流スペース  
(現地スタッフ執務スペース含む)
  - : Wi-Fi スポット

